



2022年5月12日

各位

会社名 株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ
 代表者名 代表取締役社長 渡邊 壽信
 コード番号 7173 東証プライム市場
 問合せ先 広報部長 大和田 健二
 (TEL 03-6447-5799)

取締役に対する業績連動型株式報酬制度の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社の取締役（社外取締役を除きます。）を対象に信託を用いた業績連動型株式報酬制度（以下、「本制度」といいます。）の内容を一部変更することを決議し、本制度の変更に関する議案（以下、「本議案」といいます。）を2022年6月22日開催予定の第8回定時株主総会（以下、「本株主総会」といいます。）に付議することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社は、取締役の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、取締役が株価の変動による利益・リスクを株主の皆さまと共有することで中長期的な業績の拡大と企業価値の向上に貢献する意識を高めることを目的に、2018年6月、本制度を導入しました。

現在、当社は中期経営計画に基づき、当社の経営基盤の改革やビジネスモデルの構造改革により、地域経済の発展と当社グループの企業価値向上に取り組んでおります。今回の制度変更については、株式報酬と株主価値との連動性をより高め、更なるインセンティブ効果の向上を図るべく、一部変更するものであります。

記

1. 本制度の内容の一部変更について

今般、本株主総会において本議案が原案のとおり承認可決されることを条件として、本制度の内容を一部変更します。主な変更点は以下のとおりです（詳細は2.をご参照ください）。

項目	変更前	変更後
制度対象者	当社の取締役（社外取締役を除きます。）並びに株式会社きらぼし銀行の取締役（社外取締役を除きます。）及び委任型執行役員	左記に以下を追加（予定） <ul style="list-style-type: none"> ・ 当社の雇用型執行役員 ・ 株式会社きらぼし銀行の雇用型執行役員及び一部の従業員 ・ 一部の当社子会社の取締役（社外取締役を除きます。）、委任型・雇用型執行役員及び一部の従業員
株式交付時期	退任時	在任時（原則として毎事業年度）
譲渡制限	なし	あり（原則として退任時まで）

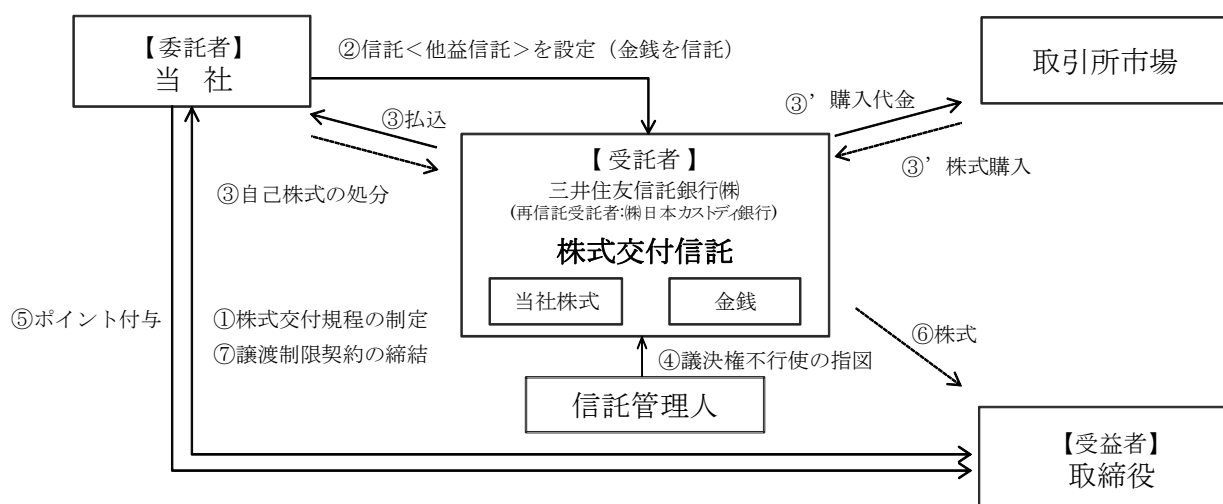
2. 変更後の本制度の概要

(1) 本制度の仕組み

本制度は、当社が設定し金銭を信託する信託（設定済みです。以下、「本信託」といいます。）が当社の普通株式（以下、「当社株式」といいます。）を取得し、当社が各取締役（社外取締役を除きます。以下、同様です。）に付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて各取締役に対して交付される、という株式報酬制度です。本制度に基づき取締役が当社株式の交付を受ける時期は、従前、退任時としておりましたが、本株主総会において本議案が原案のとおり承認可決された場合には、本株主総会後の期間における職務執行の対価として取締役に付与するポイント見合いの当社株式については、退任時ではなく、各ポイント付与日（原則として毎事業年度）以降、所定の期間内（原則としてポイント付与の日の同事業年度内）に交付したうえで、退任までの期間において譲渡制限を付けるものとします。

なお、本開示において「退任」とは、当社の取締役その他の当社取締役会が定める地位のいずれからでも退任することをいいます。

<変更後の本制度の仕組みの概要>



- ① 当社は取締役を対象とする株式交付規程を制定します（なお、今回は、制定済みのものを取締役会決議により改定することを予定しております）。
- ② 当社は、本信託の受託者に、当社株式の追加取得資金に相当する金額の金銭（ただし、当社の取締役に交付するための株式取得資金については、株主総会の承認を受けた金額の範囲内とします。）を信託します（既に一定の期間分を信託済みですが、不足が見込まれる場合には追加信託することがあります）。
- ③ 受託者は、本信託内の金銭（上記②により当社が追加信託する金銭のほか、追加信託前から本信託に残存している金銭を含みます。）を原資として、今後交付が見込まれる相当数の当社株式を取得します（既に一定の期間分を取得済みですが、不足が見込まれる場合には追加取得することがあります。なお、自己株式の処分による方法や、取引所市場（立会外取引を含みます。）から取得する方法によります。）。
- ④ 信託期間を通じて株式交付規程の対象となる受益者の利益を保護し、受託者の監督をする信託管理人（当社及び当社役員から独立している者とします。）を定めます。なお、本信託内の当社株式については、信託管理人は受託者に対して議決権不行使の指図を行い、受託者は、当該指図に基づき、信託期間を通じ議決権を行使しないこととします。
- ⑤ 株式交付規程に基づき、当社は取締役に對しポイントを付与していきます。

- ⑥ 取締役は、本信託の受益権を取得し、受益者として、付与されたポイントに応じた当社株式の交付を受託者から受けます。なお、あらかじめ株式交付規程・信託契約に定めた一定の事由に該当する場合には、交付すべき当社株式の一部を取引所市場にて売却し、金銭を交付することがあります。
- ⑦ 上記⑥の当社株式の交付は、当社と当該取締役との間で、交付日から退任する日までを譲渡制限期間とする譲渡制限契約を締結することを条件とします。

本信託終了時における本信託の残余財産のうち、当社株式については、全て当社が無償で取得したうえで、取締役会決議により消却することを予定しております。

また、本信託終了時における本信託の残余財産のうち、一定の金銭については、あらかじめ株式交付規程及び信託契約に定めることにより、当社取締役と利害関係のない特定公益増進法人に寄付することを予定しております。

なお、本制度において受託者となる三井住友信託銀行株式会社は、株式会社日本カストディ銀行に信託財産を管理委託（再信託）します。

(2) 信託期間

本信託は、当初信託期間を約3年間（2018年11月22日から2021年8月末日まで）として設定したのですが、当社は、2018年6月28日開催の第4回定時株主総会における本制度導入に関する決議（以下、「前回決議」といいます。）に基づく当社取締役会の決議により、2024年4月末日まで信託期間を延長しております。また、下記（3）のとおり、今後、さらに信託期間の延長を行うことがあります。

(3) 本信託に株式取得資金として拠出される信託金の上限額

上記のとおり、当社は、前回決議に基づき、本制度の対象期間を延長のうえ、本信託の信託期間を2年8カ月延長しております（信託終了予定日2024年4月末日）。当社は、かかる2年8カ月の期間内に、本制度に基づき取締役に交付するために必要と見込まれる当社株式の取得資金として、229百万円を上限とする金銭を本信託に追加信託します。

なお、当社は、かかる信託期間延長の際に、本議案による変更前の本制度に基づき取締役に交付するために必要な当社株式の取得資金を本信託に追加信託しておりますが、本信託内の当社株式の数が本制度に基づき取締役に交付する当社株式の数に不足することが見込まれる場合には、かかる上限額の範囲内でさらに追加信託することがあります。また、前回決議に基づき本信託の受託者が取得済みの株式については、今回の変更後の本制度に基づき取締役に対して交付されることがあります。

加えて、信託期間の終了時（現在の信託終了予定日は2024年4月末日ですが、以下の手続により信託期間を延長し本制度を継続した場合には、延長後の信託期間の終了時とします。）において、当社取締役会の決議により、その都度、3年を上限とする期間毎に信託期間を延長し（当社が設定する本信託と同一の目的の信託に本信託の信託財産を移転することにより、実質的に信託期間を延長することを含みます。以下、同様です。）本制度を継続することがあります。この場合、当社は、本制度により取締役に交付するために必要な当社株式の追加取得資金として、延長した信託期間の年数に86百万円を乗じた金額を上限とする金銭を本信託に追加拠出します。また、この場合には、かかる本制度の継続・信託期間の延長に応じて対象期間を延長し、延長された信託期間内に下記（5）のポイント付与及び当社株式の交付を継続します。

なお、本制度を継続しない場合であっても、信託期間の終了時において、変更前の本制度に基づきポイントを付与されているものの未だ退任していない取締役がある場合には、当該取締役が退任し当社株式の交付が完了するまで、本信託の信託期間を延長することがあります。

(4) 本信託による当社株式の取得方法等

本信託による当社株式の追加取得（もしあれば）は、当社からの自己株式処分を受ける方法による取得または取引所市場からの取得を予定しております。

なお、上記（3）のとおり、信託期間中、取締役の増員等により、本信託内の当社株式の株式数が信託期間中に取締役に付与されるポイント数に対応した株式数に不足する可能性が生じた場合には、上記（3）の信託金額の上限の範囲内で本信託に追加で金銭を信託し、当社株式を追加取得することがあります。

(5) 取締役に交付される当社株式の算定方法及び上限

① 取締役に對するポイントの付与方法等

当社は、当社取締役会で定める株式交付規程に基づき、各取締役に對し、信託期間中の株式交付規程に定めるポイント付与日（原則として毎事業年度）において、役位及び業績目標の達成度等に応じたポイントを付与します。

ただし、当社が取締役に對して付与するポイントの総数は、1事業年度あたり73,000ポイントを上限とします。

② 付与されたポイントの数に応じた当社株式の交付

取締役は、上記①で付与されたポイントの数に応じて、下記③の手續に従い、当社株式の交付を受けます（ただし、変更前の本制度に基づき本株主總會以前の期間における職務執行の対価として付与されたポイント見合いの当社株式の交付は、前回決議に従って行います。）。

なお、1ポイントは当社株式1株とします。ただし、当社株式について、株式分割・株式併合等、1ポイントあたりの当社株式数の調整を行うことが合理的であると認められる事象が生じた場合には、1ポイントあたりの当社株式数はかかる分割比率・併合比率等に応じて調整されるものとします。

③ 取締役に對する当社株式の交付

各取締役は、下記3.の譲渡制限契約を当社と締結することその他所定の手續を経ることを条件として、原則として信託期間中の毎事業年度（上記①のポイント付与の都度、原則として各ポイント付与の日の同事業年度中に）、本信託の受益権を取得し、本信託から当社株式の交付を受けます。ただし、変更前の本制度に基づき本株主總會以前の期間における職務執行の対価として付与されたポイント見合いの当社株式については、前回決議のとおり、各取締役は原則としてその退任時に所定の手續を行って本信託の受益権を取得し、本信託から交付を受けるものとします。

なお、本信託内の当社株式について公開買付けに応募して決済された場合等、本信託内の当社株式が換金された場合には、当社株式に代わり金銭を交付することがあります。

(6) 議決権行使

本信託内の当社株式に係る議決権は、当社及び当社役員から独立した信託管理人の指図に基づき、一律に行使しないことといたします。かかる方法によることで、本信託内の当社株式に係る議決権の行使について、当社経営への中立性を確保することを企図しております。

(7) 配当の取扱い

本信託内の当社株式に係る配当は、本信託が受領し、当社株式の取得代金や本信託に係る受託者の信託報酬等に充てられます。

(8) 信託終了時における当社株式及び金銭の取扱い

本信託終了時における本信託の残余財産のうち、当社株式については、全て当社が無償で取得したうえで、当社取締役会決議により消却することを予定しております。

また、本信託終了時における本信託の残余財産のうち、一定の金銭については、あらかじめ株式交付規程及び信託契約に定めることにより、当社取締役と利害関係のない特定公益増進法人に寄付することを予定しております。

3. 取締役に交付される当社株式に係る譲渡制限契約

本株主総会において本議案が原案のとおり承認可決された場合には、本株主総会後の期間における職務執行の対価として上記2.(5)①により付与されるポイント見合いとして交付される当社株式については、当社と取締役との間で、以下の内容を含む譲渡制限契約（以下、「本譲渡制限契約」といいます。）を締結するものとします（各取締役は、本譲渡制限契約を締結することを条件として、当社株式の交付を受けるものとします。）。

- ① 取締役は、本制度により交付を受けた当社株式につき、その交付を受けた日から退任する日までの間、譲渡、担保権の設定その他の処分をしてはならないこと
- ② 一定の事由が生じた場合には当社が当該当社株式を無償で取得すること
- ③ 当社取締役会においてあらかじめ定めた譲渡制限に関する解除条件の内容等

ただし、付与するポイントの対象である職務執行期間の途中で退任した場合等、退任以後に本制度に基づき当社株式を交付する場合には、譲渡制限を付さずに当社株式を交付します。また、このうち一定の割合の当社株式については、源泉所得税等の納税資金を当社が源泉徴収する目的で本信託において売却換金したうえで、当社株式に代わり金銭で交付することがあります。

(ご参考) 本信託に係る信託契約の概要

委託者	当社
受託者	三井住友信託銀行株式会社 (再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行)
受益者	当社及び当社子会社の取締役(社外取締役を除く)のうち受益者要件を満たす者
信託管理人	当社及び当社役員から独立した第三者を選定する予定
議決権行使	信託の期間を通じて、本信託内の株式に係る議決権は行使いたしません
信託の種類	金銭信託以外の金銭の信託（他益信託）
信託契約日	2018年11月22日
信託の期間	2018年11月22日～2024年4月末日（予定）
信託の目的	株式交付規程に基づき当社株式を受益者へ交付すること

以 上